

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名（株式会社サンクゼール）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 （必須）			・経営理念、経営理念の基本方針に明文化し、「互いに違いを認め合い、平等な社会の実現に努める」ことが広く浸透している。 ・勉強会の実施、相談体制構築等					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 （必須）			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則、ハラスメント防止規程に明記している。 ・社内にハラスメント相談員、ハラスメント相談窓口を設ける。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 （必須）			・労働基準法、二六協定を遵守。 ・始業から30分間と終業前の30分間は会議を制限。 ・従前の1h会議は50min枠、30分会議は25min枠で設定し効率化を図る。これに伴い、連続出席する者が次の会議へ遅れることを参加が前提とする。遅れた会議は、遅れた会議の参加が前提とする。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 （必須）			・経営理念に明文化。 ・経営理念に則り、差別なく公平に活躍の場を設けている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			・関連する法令に基づき適切な労働管理を行い、労働安全衛生委員会の会議・巡回を各月1回、従業員への巡回・相談会を月1回実施。労働安全衛生に伴う改善を行い、社内ホームページで内容を周知。 ・年に一度、社会保険労務士による労務監査と安全衛生監査を実施している。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 （必須）			・就業規則に休職制度を設けている。 ・メンタルヘルスのカウンセリング体制を構築している。 ・メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修会を実施している。 ・メンタルヘルスを理解し、社会復帰を促せるよう職場の当社員は女性比率が高いため、就業規則にて母子健康管理規程、育児・介護休業規程を設けており、女性が継続して活躍しやすい環境を整備している。 ・障がい者の方が自立できるよう、行政と連携、「優秀社員研修会」を毎月実施し、障がい者に対する研修を実施。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金の原則に沿った体制の整備・対応を行っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 （必須）			・定期的健康診断受診率100%、ストレスチェック実施、食生活改善のためにお昼にご飯・お味噌汁・サラダを提供。 ・更衣室や休憩室等、職場環境を整備。 ・従業員の健康や安全を把握し、記録を把握している。 ・廃棄マニュアルを策定し、自社工場や店舗から発生する食品廃棄物を2030年までに2021年比で50%削減する目標を設定し、更なる削減に向けた取組を実施。			4	5.5			8	9									
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 （必須）			・建屋の屋根塗料に断熱性の高い塗料を使用し、夏場の建屋内の温度上昇を抑制。事務所は、28℃に達するまで自然を活かした空調管理を実施。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ （任意）						3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 （必須）			・各種法令に基づき適切に管理し、処理を行っている。 ・事業における汚水や有害物質の排出を基準以内に抑制済。										11.6	12		14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 （必須）			・エネルギー使用量、温室効果ガスの排出量を把握し、記録している。							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 （必須）										7.2 7.3				12.4	13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 （必須）					3.9			6.3					11.6	12.4						

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (異などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・植物由来製品について、適切な手続きに従った調達を行い、既存生態系に影響を与えないように取り組んでいる。 ・信濃町事業所にて、2014年から信州大学森林生態学研究室と森の保全、希少種の育成環境の保全を行い、定期観察会を実施。将来の森の活用プロジェクト(22年、自社製造商品の98%が約600万本は、ガラス瓶を利用。ガラス瓶は80%近くが回収され再生利用。 ・アウトレット店を設け、自社商品だけでなく各取引先の商品を併せて食品の大量廃棄を防止。 ・シニアが働きやすい環境に配慮した包材は100%を						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)														13		14.1				
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・自社の水源を含む水利用状況を把握している。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)		【予定】	【予定】環境マネジメントシステム規格を導入予定。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			・自社の会社案内・HPにSDGsの取組状況を公開している。												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・飯綱、信濃町各拠点の高圧電力をCO2フリー電力に切り替え(22年4月) 【予定】設備更新時にクリーンエネルギー導入を検討。						7.2							13				
21	公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・調達時、非合法材でないことの確認を行っている。 【予定】FSC認証など各種、認証製品の取り扱いを検討する。												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・就業規則の服務規律、接待交際費管理規程にて明記し、社内に周知している。 ・贈収賄防止のレターを各ステークホルダーに発送(年1回)																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・法務担当者と専門家により、公正競争行為を含む整備と社内研修を実施している。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・特許・商標等知的財産権の取得・管理をしている。 ・法務担当者・内部管理責任者と専門家によるチェック体制を確立。 ・パタナ・コンプライアンス委員会が法務担当者による							8.2 8.3	9									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・個人情報取扱規程、個人番号及び特定個人情報取扱規程を定め、法令に基づき厳正に管理運営。 ・ソーシャルメディアポリシー、情報セキュリティマニュアルを定め、定期的に研修を実施している。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			・調達時に、原産地、仕様書、仲介商社の信頼性、トレサビリティの確認を行っている。																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			重要なサプライヤーについて、サプライチェーンの把握(取引先評価、工場監査等)と連携に取り組んでいる。 【予定】 ・今後、CSR調達方針を策定予定。 ・サプライチェーンへ自社のCSR調達方針を展開し、共に取り組む。					5		8		10		12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト： https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	【予定】「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表予定。			3				8	9	10								17

項目 番号	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・「商品経営」を経営の柱に掲げている・法令に基づき、製品の安全性を遵守する仕組みを構築済。 ・JFS－B認証を取得(20年1月)			3.9								12.4							
30	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			・経営理念に「品質保証方針」が定められている。 ・お客様からのご指摘を頂く専用窓口が設置されており、改善に向けた体制が整備されている。 ・米国子会社:USDAオーガニック認証取得済。 ・JFS－B認証を取得(20年1月)								9										
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・上記、自社製造商品の98%をガラス瓶を利用・減農薬を中心に採用し、USDAオーガニック認証を取得済。 ・開発マニュアルにより、環境影響の把握を行っている						6					12	13	14	15				
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・伝統的な日本古来の食文化をクローズアップし、豊富な地方資源を活用し、販路をつくるビジネスモデルを確立(サンクゼールブランド、久世福商店ブランドの確立、斑尾高原農場の設立)。 ・役社員が地域に居住し密着。地域の各種団体に所属。地域との対話・会議・報告会などを実施し、対話に基づき、事業地域への影響の把握を行い、改善に努めている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			・タンザニア支援としてNPOムワンガザ・ファンデーションへの取り組み(2013年パートナーシップ大賞受賞) ・一般財団法人CWニコル・アフアの森財団へ生物多様性を目指した豊かな森づくりを支援している。 ・長野県内の支援団体を通じて、子ども食堂等へ規格・地域資源を使った新商品を開発(例:飯綱町、アップルブランダー)し、全国に発売している。 ・長野県内の原材料を積極的に使用し、商品化している					4				9		11	12		14	15		17	
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・タンザニア支援としてNPOムワンガザ・ファンデーションへの取り組み(2013年パートナーシップ大賞受賞) ・一般財団法人CWニコル・アフアの森財団へ生物多様性を目指した豊かな森づくりを支援している。 ・長野県内の支援団体を通じて、子ども食堂等へ規格・地域資源を使った新商品を開発(例:飯綱町、アップルブランダー)し、全国に発売している。 ・長野県内の原材料を積極的に使用し、商品化している					4						11			14	15		17	
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ (任意)			・経営理念が明文化されており、広く浸透している。 ・成長セミナー等、経営理念の学びの機会が設けられている。 ・社内アンケートにて、「自社の強み」の設問に対して、コンプライアンス徹底のため、適法な業務遂行を含む、全社的な規定を策定、内部管理体制を構築済。 ・リスク&コンプライアンス委員会を毎月開催。 ・専門家による勉強会を実施。									8	9		11	12	13				
36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 (必須)			・社内アンケートにて、「自社の強み」の設問に対して、コンプライアンス徹底のため、適法な業務遂行を含む、全社的な規定を策定、内部管理体制を構築済。 ・リスク&コンプライアンス委員会を毎月開催。 ・専門家による勉強会を実施。									8	9							17	
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			・経営理念「あらゆる人々に開かれたオープンな会社」を目指しており、適宜、会議や報告会にてステークホルダーと対話している。 【予定】活動を周知するためにHPを通じて開示していく																	16	
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			・管理部門担当者役員、CSR推進者を任命している。 ・専門的な知見を持つ複数の社外顧問により、適切な助言がなされる体制が構築されている。																	16	
39	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 (必須)			・経営理念「あらゆる人々に開かれたオープンな会社」を目指しており、適宜、会議や報告会にてステークホルダーと対話している。 【予定】活動を周知するためにHPを通じて開示していく																	16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			・リスク&コンプライアンス委員会にて、事例研究、知識拡充と周知を徹底。 ・ハザード(リスク)マップを活用してリスクの特定・評価を行っている。																	16	
41	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・CSR推進者を任命している。 ・社外取締役、監査役を設置し、ガバナンス体制を強化している。 ・SDGsの取組を強化している。 【予定】CSR方針を策定予定。 ・2018年9月BCP策定済(年に一度更新)、定期的な訓練を実施。 ・物流拠点の地域分散。 ・米国・オレゴン州の食品加工工場により、地域分散が																	16	
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			・2018年6月、創業者から事業承継済。 ・若い人材を積極的に登用。 ・海外赴任により経験値を上げ、経営幹部を育成する環境を構築。									9		11		13 13.1			16		
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			・2018年9月BCP策定済(年に一度更新)、定期的な訓練を実施。 ・物流拠点の地域分散。 ・米国・オレゴン州の食品加工工場により、地域分散が									8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
一般財団法人CWニコルアファンの森財団への支援		生物多様性を目指した豊かな森づくりを支援																	
「ワイン用ぶどう」残渣の活用		ぶどう残渣を、化粧品の原料や家畜の飼料として再利用している。																	
原材料が特定できる食品廃棄物の活用		原材料が特定できる食品廃棄物を牧場用の肥料として活用している。																	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定